

## 農学委員会 風送大気物質問題分科会（第21期・第1回）議事要旨

日 時：平成20年12月17日（水）15：00～17：00

場 所：日本学術会議6-A(1)会議室

出席者：真木太一（委員長）、青木正敏（副委員長）、磯田博子（幹事）、鈴木義則、  
早川誠而、小川保彦（事務局）

欠席者：大政謙次、宮崎毅、山形俊男

議 事：

### 1. 委員長、副委員長、幹事の選出

委員長に真木太一、副委員長に青木正敏、幹事に磯田博子が選出された。

### 2. 今後の分科会の推進方向

(1) 本分科会においては、農業、環境等に及ぼす黄砂や越境大気汚染物質（風送大気物質）の影響程度を解明し、その影響を評価して早期対策を検討することで、問題解決の提言を行うことを目的とすることを確認し、下記の議論がなされた。

- ①黄砂、大気汚染物質の環境影響評価については、エルニーニョ等の気象学的な擾乱、地球温暖化による様々な影響も含めて考慮すべきである。
- ②日本が影響を受ける越境汚染のソースとしては、北半球の大気循環の流れも考慮し、中国西部の乾燥地のみならず中東、アフリカも視野に入れるべきである。

(2) 2009年2月20日に予定しているシンポジウムにおいて、黄砂や越境大気汚染物質研究の専門家にも講演いただき、速やかに提言書の骨子作成に着手することとした（提言書締め切りは2009年6月）。

### (3) その他

- ・ 2009年2月20日のシンポジウムの際に、次回の分科会を行う。
- ・ 筑波大学北アフリカ研究センターの文科省への共同利用・共同施設申請に関する研究者コミュニティからの要望書については有志で行うこととした。

以上